

<名古屋市①>



排水機場の機能強化<戸田川>

排水機場の治水機能を確保し、流域内の浸水被害を防止・軽減するため、戸田川排水機場の電気設備の更新とネットワークの強化を実施した。



平野池



要池

ため池の改修の実施<天白川流域>

豪雨時の堤体部からの越流による決壊を防止するため、洪水吐の改良や堤体の嵩上げを実施した。

実施場所: 平野池、要池

<名古屋市②>



最大30,000円!

雨水タンク等の設置に補助金が出ます!

都市化の進展などにより、浸み込む雨の量が大きく減少! 浸水リスク増加、水環境悪化

補助対象 雨水流出抑制施設

雨水タンク
雨水を雨どいから分岐し、タンクに貯めます。(貯めた水やりになどに有効利用することができます。)

浸透雨水ます
穴の開いたますから、集めた雨水を地中に浸み込ませます。

雨水流出抑制施設を設置すると...

- 浸水被害の軽減 大雨が降ったとき下水道などをふれにくくすることで、浸水に対する安全性が向上します。
- 豊かな水の環境の復活 地中にしみ込んだ雨水によって、水循環機能が回復し、ヒートアイランド現象を和らげる効果などが期待できます。
- 河川の浄化 地表の汚れを含んだ雨の始めの雨水が河川に流れ出る回数・量が減り、河川の浄化に役立ちます。

くわしくは裏面をご覧ください。

雨水流出抑制施設の設置<市全域>

名古屋市では、「名古屋市防災条例」により、市の施設は雨水流出抑制が義務化されており、雨水貯留浸透施設の設置を推進している。

市民・事業者の皆さまに対しても、雨水流出抑制施設設置補助金制度を活用し、雨水流出抑制の普及・啓発に努めている。

名古屋市避難確保計画作成支援システム

■名古屋市避難確保計画作成支援システム講習会アーカイブ配信のご案内
2024年2月21日(水曜日)に開催した「名古屋市避難確保計画作成支援システム講習会」につきまして、名古屋市公式YouTube 暮らしのふでアーカイブ配信を実施しております。

避難確保計画作成支援システム講習会アーカイブ配信: YouTube(外部リンク)

更新日時	計画書名称	作成年月	ステータス	提出日	結果通知日
2025/10/16 15:51:23	避難確保計画	2025/10	審査中	未提出	未通知

要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成促進<市全域>

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・提出、避難訓練の結果報告を効率的に行うことができる「名古屋市避難確保計画作成支援システム」を導入している。

施設管理者の負担軽減を図り、計画作成や訓練の実施を促すことで、施設利用者の円滑な避難行動の確保を図る。

<名古屋市③>

水害リスクを考慮した居住誘導<市全域>

平成30年に立地適正化計画として「なごや集約連携型まちづくりプラン」を策定した(令和5年、7年改定)。

災害リスクを考慮して居住誘導区域を設定するとともに、災害リスクの内容や安全に配慮した居住方法の理解促進を図ることを目的に、市独自の「要安全配慮区域」を設定。また、立地適正化計画に基づく届出制度や住宅の浸水対策チラシの配布などにより、災害リスクを踏まえた居住誘導を促進している。

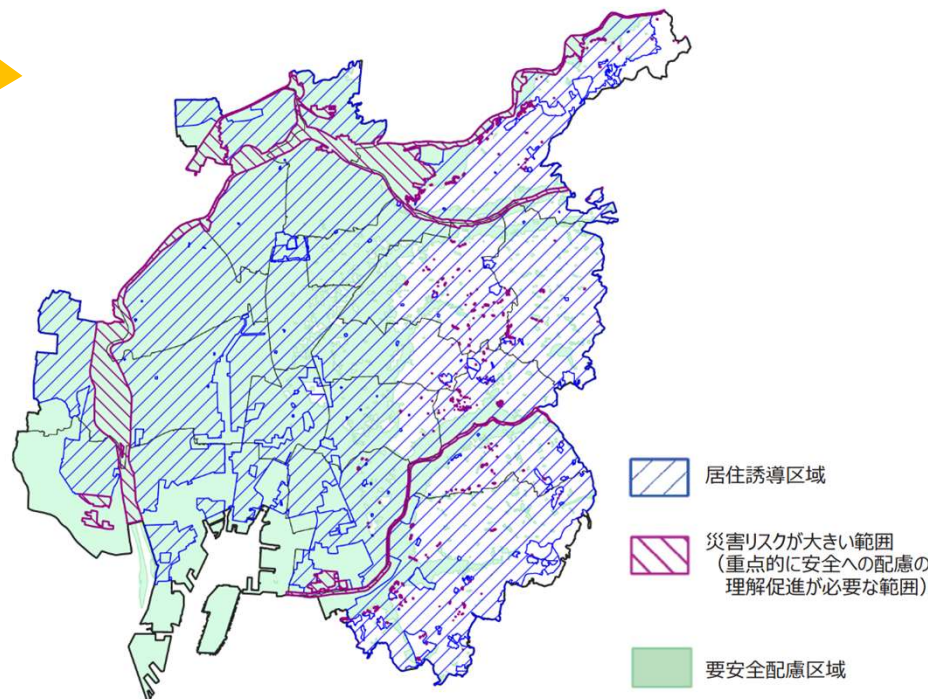
防災指針では、ハザード情報と都市の情報を重ね合わせた災害リスク分析を行い、そのリスクを回避・低減させるための取組方針を設定し、具体的な取組をとりまとめた。



なごや集約連携型まちづくりプラン

●要安全配慮区域の設定

●防災指針の位置づけ



災害リスクが大きい範囲と要安全配慮区域の位置